

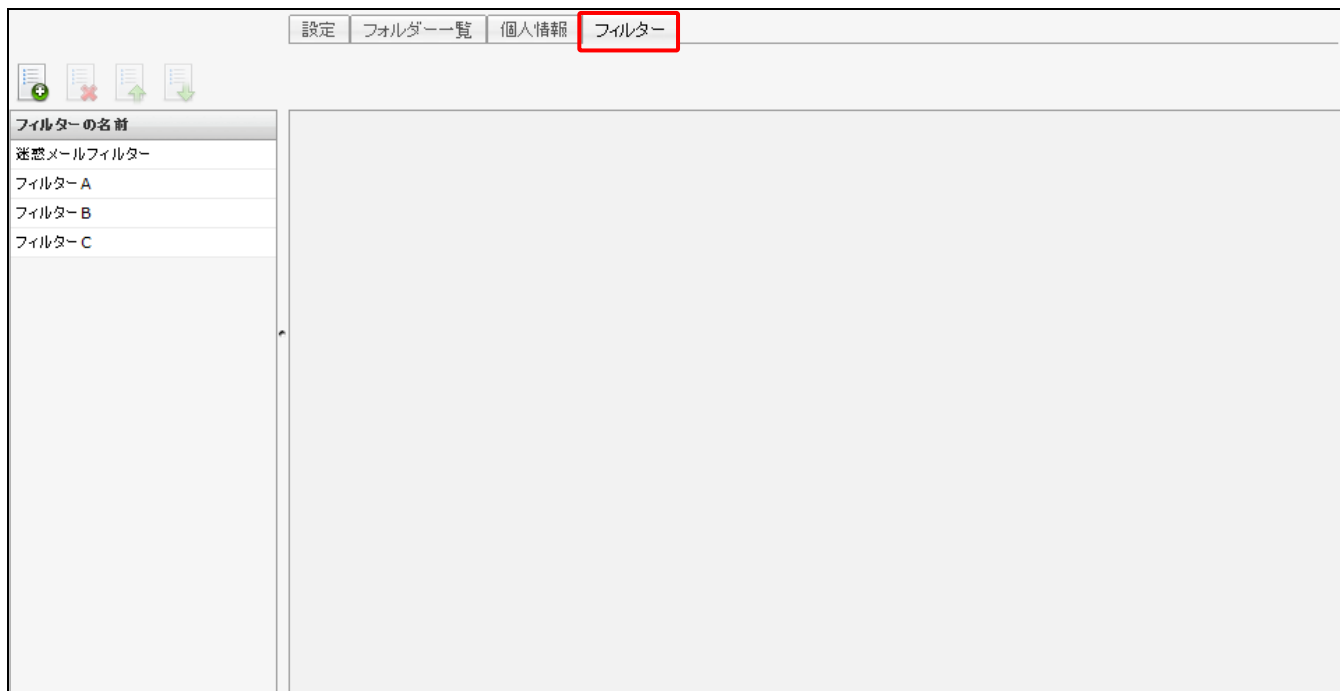
## 高機能フィルター設定

### フィルター設定画面の表示

(1) Web メールにログインし、画面右上の「個人設定」をクリックします。







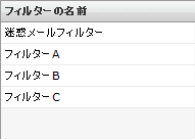
(2) 「フィルター」タブをクリックすると、フィルター設定画面が表示されます。



## フィルター画面の構成

フィルター設定画面は以下のような構成となっています。



(1)		新しくユーザーフィルターを追加します。
		フィルター一覧で選択しているフィルターを削除します。
		フィルター一覧で選択しているフィルターの適用順を1つ上げます。
		フィルター一覧で選択しているフィルターの適用順を1つ下げます。
		設定されているフィルター一覧が表示されます。 表示されているフィルターは上から順番に適用されます。 <b>※一番上に表示されている『迷惑メールフィルター』は削除できません。</b>
(2)	フィルター一覧で選択しているフィルターの設定内容が表示されます。 フィルターは、迷惑メールフィルターとユーザーフィルターの2種類があります。	



## 迷惑メールフィルター

フィルター強度設定、ブラックリスト、ホワイトリストで構成されています。

※迷惑メールフィルターは、ご契約内容ごとに[ON][OFF]切り替えの仕様が異なります。

ここでは、迷惑メールフィルターの機能が[ON][OFF]切り替えできる前提でのご説明です。

## 迷惑メールフィルターの画面



ご契約状態に応じて、[ON]と[OFF]の切り替えが固定されていた場合、[ON][OFF]は次のようになり、チェックボックスは活性化しません。

★[ON][OFF]のチェックボックスが、切り替え自在（左）の時と固定されている（右）時の違い



迷惑メールフィルター	[ON]が選択されている場合、迷惑メールフィルターの機能がご利用いただけます。 [OFF]が選択されている場合、迷惑メールフィルターの機能がご利用いただけません。 ※[ON]で設定していたものを[OFF]にした場合、フィルター強度やブラックリスト、ホワイトリストの設定は削除されますのでご注意ください。
フィルター強度	迷惑メールフィルターの強度を弱～強の15段階で調整します。 ※SPAM(迷惑メール)の判定基準につきましては、『フィルターの適用順』をご参照ください。
ブラックリスト	設定条件に該当したメールを迷惑メールフォルダーに格納します。 [追加]ボタンを押すと、条件設定画面が表示されます。 設定した条件を削除するには、[削除]ボタンをクリックします。
ホワイトリスト	設定条件に該当したメールを受信トレイに格納します。 [追加]ボタンを押すと、条件設定画面が表示されます。 設定した条件を削除するには、[削除]ボタンをクリックします。
保存ボタン	クリックすると、現在の設定を保存します。 ※必須項目が未入力の場合には、設定は保存されません。

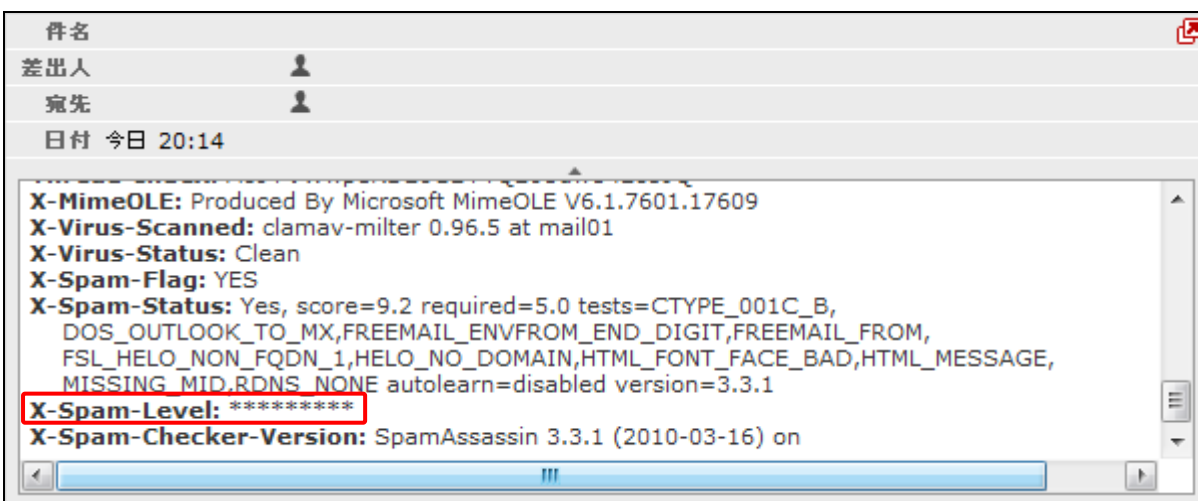
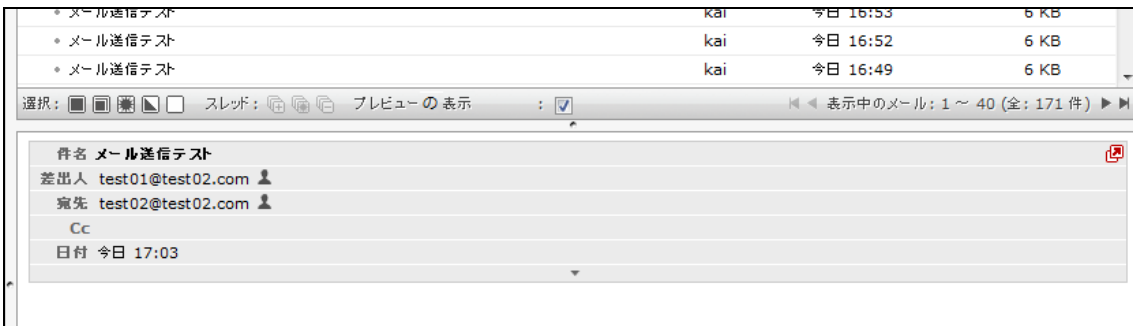
## SPAM(迷惑メール)の判定基準

以下の2つの条件のいずれかに該当したメールは、SPAMとして迷惑メールフォルダーに格納されます。

- ・ブラックリストに設定されている条件に合致
- ・「X-Spam-Level」の「\*（アスタリスク）」の数が、設定されているフィルター強度以上の場合

「X-Spam-Level」はメールヘッダから確認できます。

★メールヘッダは、メールプレビュー画面の▼マークをクリックする事で表示されます。



「X-Spam-Level」は「X-Spam-Status」の Score を元に「\*（アスタリスク）」で表示されます。

各項目の詳細は下表をご覧ください。

X-Spam-Status	<p>メール内の SPAM 要素を Score として数字で表示します。</p> <pre><b>X-Spam-Status:</b> Yes, score=7.1 required=5.0 tests=DOS_OUTLOOK_TO_MX, FSL_HELO_NON_FQDN_1, HELO_NO_DOMAIN, SUBJECT_NEEDS_ENCODING, SUBJ_ILLEGAL_CHARS autolearn=disabled version=3.3.1</pre> <p>上記例では Score は 7.1 という事になります。 Score 以降の記述は、加点要素が記載されています。</p>
X-Spam-Level	<p>X-Spam-Status の Score の数字を『*』を使って 1 単位ずつ表示します。</p> <pre><b>X-Spam-Level:</b> *****</pre> <p>こちらの項目は、Score が 1.0 以上の場合に表示されます。 例) score=3.9 の時には「***」星 3 つ、score=5.1 の時には「*****」星 5 つ</p>

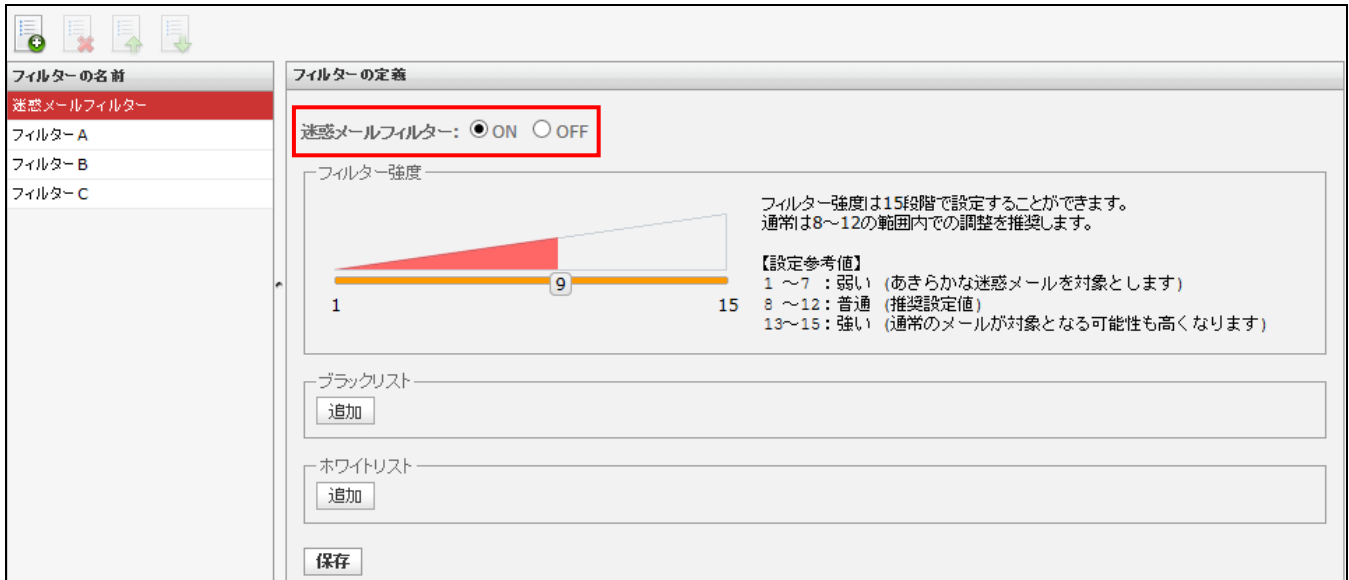
## フィルター強度の設定

迷惑メールのフィルター強度は「フィルター強度」欄にあるスライダーを左右にドラッグしてゲージを調整します。

調整できる範囲は最弱(X-Spam-Status の Score が 15 以上)～最強(Score が 1 以上)になります。

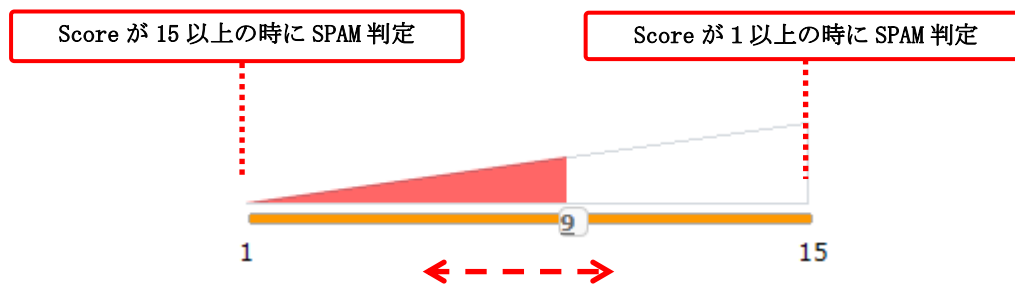
設定強度以上の Score のメールを受信した場合に迷惑メールフォルダーにメールが格納されます。

(1) 迷惑メールフィルターが[ON]であることを確認します。



(2) フィルター強度欄にある、スライダーを任意の場所にドラッグ操作で調整します。

ゲージ弱 1 (Score15)～ゲージ強 15 (Score1) の 15 段階で設定が可能です。



ゲージと score 早見表

ゲージ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
score	15.0	14.0	13.0	12.0	11.0	10.0	9.0	8.0	7.0	6.0	5.0	4.0	3.0	2.0	1.0

例) ゲージが 5 の時、score11.0 以上のメールを迷惑メールフォルダーへ移動します。

例) ゲージが 13 の時、score3.0 以上のメールを迷惑メールフォルダーへ移動します。

※最強設定(ゲージ 15)にした場合、通常のメールも SPAM として判定される可能性がある為、あわせてホワイトリスト機能も設定していただく事をお勧めします。

(3) 設定後、画面最下部にある[保存]ボタンをクリックします。

## ブラックリスト/ホワイトリストの設定

(1) 迷惑メールフィルターが[ON]であることを確認し、

ブラックリスト / ホワイトリストそれぞれの項目の[追加]ボタンをクリックします。

フィルターの名前  
迷惑メールフィルター  
フィルター-A  
フィルター-B  
フィルター-C

フィルターの定義  
迷惑メールフィルター:  ON  OFF

フィルター強度  
1 9 15

フィルター強度は15段階で設定することができます。  
通常は8~12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】  
1~7 : 弱い (あきらかな迷惑メールを対象とします)  
8~12 : 普通 (推奨設定値)  
13~15 : 強い (通常のメールが対象となる可能性も高くなります)

ブラックリスト  
追加

ホワイトリスト  
追加

保存

(2) ルールの適用条件を設定します。

複数の条件を追加するには[追加]ボタン、削除する場合は[削除]ボタンをクリックします。

※複数条件を設定している場合は、すべて or 条件指定となります。

フィルターの名前  
迷惑メールフィルター  
フィルター-A  
フィルター-B  
フィルター-C

フィルターの定義  
迷惑メールフィルター:  ON  OFF

フィルター強度  
1 9 15

フィルター強度は15段階で設定することができます。  
通常は8~12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】  
1~7 : 弱い (あきらかな迷惑メールを対象とします)  
8~12 : 普通 (推奨設定値)  
13~15 : 強い (通常のメールが対象となる可能性も高くなります)

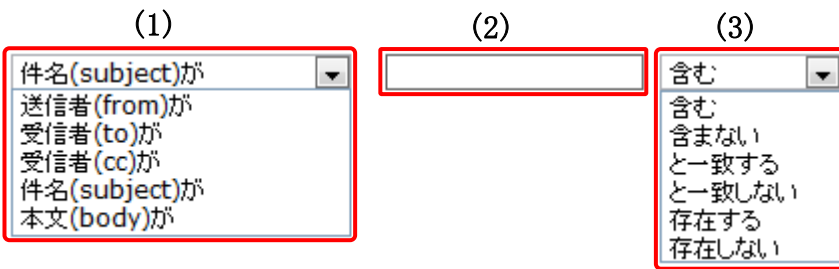
ブラックリスト  
送信者(from)が [ ] を含む [ ] 削除  
追加

ホワイトリスト  
送信者(from)が [ ] を含む [ ] 削除  
追加

保存

適用条件の設定項目は選択したメニューにより、3つのパターンに変化します。

◆パターン1：「送信者(from)、受信者(to、cc)、件名(Subject)、本文(body)が」を選択した場合



(1)	送信者(from)が	条件にメールの送信者(from)を指定する場合に選択します。
	受信者(to)が	条件にメールの受信者(to)を指定する場合に選択します。
	受信者(cc)が	条件にメールの受信者(cc)を指定する場合に選択します。
	件名(Subject)が	条件にメールの件名(Subject)を指定する場合に選択します。
	本文(body)が	条件にメール本文(body)を指定する場合に選択します。
(2)	<p>条件となる、メールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)を入力します。</p> <p>【入力例】</p> <p>送信者(from)が：mail-box@example.xxx.com、” ●● ” &lt; mail-box@example.xxx.com &gt;など</p> <p>受信者(to)が：mail-box@example.xxx.com、” ●● ” &lt; mail-box@example.xxx.com &gt;など</p> <p>受信者(cc)が：mail-box@example.xxx.com、” ●● ” &lt; mail-box@example.xxx.com &gt;など</p> <p>件名(Subject)が：メール送信テスト(任意のテキストを入力します)</p> <p>本文(body)が：こんにちは(任意のテキストを入力します)</p>	
(3)	を含む	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が含まれている場合に動作します。 ※含む/含まないは、部分一致を意味します。
	を含まない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が含まれていない場合に動作します。
	と一致する	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が一致する場合に動作します。 ※一致する/しない設定は、条件の完全一致を意味します。 メールヘッダの from と同じ内容になっていない場合は一致とは判定されない為、フィルター設定は動作しません。
	と一致しない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が一致しない場合に動作します。
	存在する	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が存在する場合に動作します。 ※存在する/しないは、header 情報の有無を確認する項目となります。 「From:」「To:」「Cc:」「Subject:」のヘッダーが存在するかないかを判断します。 ※『本文 (body)』設定はメールヘッダに『body:』というヘッダーがそもそも存在しない為、設定しても動作しません。
	存在しない	(2)で入力したメールアドレス、ドメイン、件名、本文(文章)が存在しない場合に動作します。



◆パターン2：「メールヘッダー(header)が」を選択した場合

(1) メールヘッダー(header)が (2) (3) (4) 含む

含む  
含まない  
と一致する  
と一致しない  
存在する  
存在しない

(1)	メールヘッダー (header)が	条件にメールヘッダー(header)を指定する場合に選択します。
(2)	条件となる header を入力します。 【入力例】 From(送信者)が、 mailbox@example.co.jp を含む場合 この場合は「From」と入力します。	メールヘッダー(header)が <input type="text"/> mailbox@example.co.jp を含む
(3)	(2)で入力した header の詳細条件を入力します。 【入力例】 From(差出人)が、 mailbox@example.co.jp を含む場合 この場合は「mailbox@example.co.jp」と入力します。	メールヘッダー(header)が <input type="text"/> mailbox@example.co.jp を含む
(4)	を含む	(2)と(3)で入力した、header 情報が含まれている場合に動作します。 ※含む/含まないは、部分一致を意味します。
	を含まない	(2)と(3)で入力した header 情報が含まれていない場合に動作します。
	と一致する	(2)と(3)で入力した header 情報が一致する場合に動作します。 ※一致する/しないは、完全一致を意味します。
	と一致しない	(2)と(3)で入力した header 情報のいずれかが一致しない場合に動作します。
	存在する	入力した header 情報が存在する場合に動作します。 ※存在する/しないは、header 情報の有無を確認する項目となります。 例)「From:」「To:」「Cc:」「Subject:」等のヘッダーが存在するかしないかを判断します。
存在しない	入力した header 情報が存在しない場合に動作します。	

◆パターン3：「メールサイズが」を選択した場合。

(1) メールサイズが (2) (3) より下  
より下  
より上

(1)	メールサイズが	条件にメールサイズを指定する場合に選択します。
(2)	(3)で選択する単位に応じた数値を入力します。	
(3)	メールサイズの単位を選択します。 バイト～GB、設定した数値以上 / 以下の設定を行います。	

(3)設定後、画面最下部にある[保存]ボタンをクリックします。

フィルターの名前  
迷惑メールフィルター  
フィルター-A  
フィルター-B  
フィルター-C

フィルターの設定

迷惑メールフィルター:  ON  OFF

フィルター強度

1 7 15

フィルター強度は15段階で設定することができます。  
通常は8～12の範囲内での調整を推奨します。

【設定参考値】  
1～7：弱い (あきらかな迷惑メールを対象とします)  
8～12：普通 (推奨設定値)  
13～15：強い (通常のメールが対象となる可能性も高くなります)

ブラックリスト

送信者(from)が sample00@sample.co.jp を含む

追加 削除

ホワイトリスト

件名(subject)が サンプルメール と一致する


追加 削除

保存

## ユーザーフィルターの追加

ユーザーフィルターとは、ユーザーが任意の条件と処理方法を設定できるフィルターのことです。任意で追加、削除する事ができ、ユーザーはフィルターを好きなようにカスタマイズすることができます。複数設定している場合は、フィルター一覧の上から順番に適用されます。

## ユーザーフィルター追加の方法

- (1) フィルター設定画面で、画面左下にある  ボタン(フィルターの追加)をクリックします。  
ユーザーフィルターの新規設定画面が表示されます。

フィルターの名前	フィルターの名前を任意で入力します。
ルールの適用条件	ルールの適用条件を設定します。 [追加] ボタンをクリックすると、新しい設定項目が表示され複数設定する事が可能です。 [削除] ボタンをクリックすると、設定条件を削除します。
ルールの適用時間	ルールの適用時間を設定します。 [常時] にチェックを入れると、時間帯に関係なく適用されます。 [時間指定] にチェックを入れた上で時間帯を決めると、指定された時間帯だけフィルターが適用されます。
実行する処理の内容	「ルールの適用条件」に合致したメールに実行する処理を設定します。 [追加] ボタンをクリックすると、新しい設定項目が表示され複数設定する事が可能です。 [削除] ボタンをクリックすると、設定条件を削除します。
保存ボタン	クリックすると、現在の設定を保存します。 <b>※必須項目が未入力の場合には、設定は保存されません。</b>

(2) フィルターの名前欄に、任意のフィルター設定名を入力します。

フィルターの名前:

(3) ルールの適用条件を設定します。

複数の条件を追加するには[追加]ボタン、削除する場合は[削除]ボタンをクリックします。

ルールの適用条件:

(1)

以下のルールのいずれかに一致  以下のルールの全てに一致  全てのメールに適用

(2)

送信者(from)が	<input type="text"/>	を含む	追加	削除
送信者(from)が 受信者(to)が 受信者(cc)が 件名(subject)が 本文(body)が メールヘッダー(header)が メールサイズが		を含む 含まない と一致する と一致しない 存在する 存在しない		

(1)	以下のルールのいずれかに一致	設定した条件のいずれかに一致した場合に、処理が実行されます。 (or 条件の指定になります※1)
	以下のルールの全てに一致	設定した条件の全てに一致した場合に、処理が実行されます。 (and 条件の指定になります※2)
	全てのメールに適用	全てのメールで処理が実行されます。 (こちらを選択すると、適用条件設定項目が非表示となり、受信した全てのメールに処理が適用されます。)
(2)	適用条件設定項目はブラックリスト/ホワイトリストと同じ仕様となります。 設定の詳細については「ブラックリスト/ホワイトリストの設定」をご参照ください。	

※1……or 条件とは、『複数の条件のどちらか』を満たしている場合

(例)A と B のどちらかが入っていること

※2……and 条件とは、『複数の条件のどちらも』満たしている場合

(例)A も B もどちらも入っていること

(4) 実行する処理の内容を設定します。処理は、複数設定する事が可能となっております。

複数の条件を追加するには[追加]ボタン、削除する場合は[削除]ボタンをクリックします。

実行する処理の内容画面は、選択したメニューにより、5つのパターンに変化します。

◆パターン1：「次のフォルダーにメールを移動する、次のフォルダーにメールをコピーする」を選択した場合

実行する処理の内容:

(1)	(2)	追加 削除
<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">           次のフォルダーにメールを移動する            次のフォルダーにメールを移動する            次のフォルダーにメールをコピーする         </div>	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">           受信トレイ            受信トレイ            下書き            送信済みアイテム            迷惑メール            ごみ箱            保存フォルダー         </div>	

(1)	次のフォルダーにメールを移動する	条件に該当したメールを指定したフォルダーに移動します。
	次のフォルダーにメールをコピーする	条件に該当したメールを指定したフォルダーにコピーします。
(2)	選択したフォルダーに(1)で設定した処理が実行されます。 <b>※初期フォルダーには「受信トレイ」「下書き」「送信済みアイテム」「迷惑メール」「ごみ箱」「保存フォルダー」の6つのフォルダーがありますが、ユーザーが自分で作成したフォルダーがある場合も一覧に表示されます。</b>	

◆パターン2：「次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない / 残す)」を選択した場合

実行する処理の内容:

(1)	(2)	追加 削除
<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">           次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない)            次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない)            次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す)         </div>	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; width: 200px; height: 20px;"></div>	

(1)	次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残さない)	条件に該当したメールを転送します。 転送したメールはサーバーから削除します。 <b>※転送したメールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されます。元に戻すことは出来ませんのでご注意ください。</b>
	次のアドレスにメールを転送する(転送後サーバーに残す)	条件に該当したメールを転送します。 転送したメールをサーバーに残す設定です。
(2)	転送するメールの送信先メールアドレスを入力します。	

◆パターン3：「メールを破棄する」を選択した場合

実行する処理の内容:

(1)	(2)	
<input type="text" value="メールを破棄する"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>

(1)	メールを破棄する	<p>条件に該当したメールはサーバーから削除され、サーバーから差出人に送信不能の旨のメールが送信されます。</p> <p><b>※メールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。</b></p>
(2)	<p>差出人に対して送信するメールを入力します。未入力でも構いません。</p> <p>※差出人に送信されるメールのサンプル</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>差出人: Mail Delivery Subsystem &lt;postmaster@ &gt; 宛先: mailbox@example.jp</p> <p>件名: Automatically rejected mail 日時: Wed, 12 Jun 2013 17:48:25 +0900</p> <p>Your message to &lt;mailbox@example.jp&gt; was automatically rejected:</p> </div>	

◆パターン4：「バケーションメールを送信する」を選択した場合

実行する処理の内容:

(1)	(2)	
<input type="text" value="バケーションメールを送信する"/>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>件名: <input type="text"/></p> <p>本文: <input type="text"/></p> <p>受信者: <input type="text" value="mailbox@example.co.jp"/></p> <p>返送禁止期間 (日): <input type="text"/></p> </div>	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>

(1)	バケーションメールを送信する	<p>条件に該当したメールにバケーションメールを送信します。</p> <p>バケーションメールは、休暇中などのメール返信が出来ない期間に、設定したメッセージを自動返信する機能です。</p>
(2)	件名	自動返信するメールの件名を入力します。
	本文	自動返信するメールの本文を入力します。
	受信者	<p>入力されているメールアドレス宛てのメールを受信した際にバケーションメールが送信されます。</p> <p><b>※標準値でログイン中のメールアドレスが入力されています。</b></p>
	返送禁止期間(日)	<p>1度送った相手に再送を行わないよう期間を設定します。</p> <p>1～90日の間で半角の数字を入力します。</p>

◆パターン5：「メールを削除する、ルール評価を停止する」を選択した場合

実行する処理の内容:

次のフォルダーにメールを移動する  
 メールを削除する  
 ルール評価の停止

メールを削除する	<p>条件に該当したメールをサーバーから削除します。</p> <p><b>※メールはごみ箱には入らず、サーバーから削除されますのでご注意ください。</b></p>
ルール評価を停止する	<p>『ルール評価の停止』以下のフィルター設定が、動作を停止します。</p> <p><b>【設定例】</b></p> <p>下図のようにユーザーフィルターを3つ設定している場合          「フィルターB」で『ルール評価を停止する』を設定している場合に          「フィルターC」以降も実行されなくなります。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>フィルターの名前</b></p> <p>迷惑メールフィルター</p> <p>フィルターA</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 2px;">フィルターB</div> <p>フィルターC</p> </div> <p style="text-align: center; color: red;">点線より下も実行されなくなる。</p>

(5) 設定後、画面最下部にある**[保存]**ボタンをクリックします。

**フィルターの名前**

迷惑メールフィルター

フィルターA

フィルターB

フィルターC

フィルターD

**フィルターの定義**

フィルターの名前:

ルールの適用条件:

以下のルールのいずれかに一致  以下のルールの全てに一致  全てのメールに適用

件名(subject)が  と一致する

ルールの適用時間

常時  時間指定  時台~  時台までの間 (終了時刻は開始時刻より大きい数字を設定して下さい。)

※[9]時台~[17]時台と設定した場合は、9時00分00秒~17時59分59秒までが対象時間となります。  
 ※21時台~8時台と言う様な日付をまたぐ時間指定をしたい場合は、21時~23時のフィルタと0時~8時のフィルタを2つ設定して下さい。


実行する処理の内容:

次のフォルダーにメールを移動する

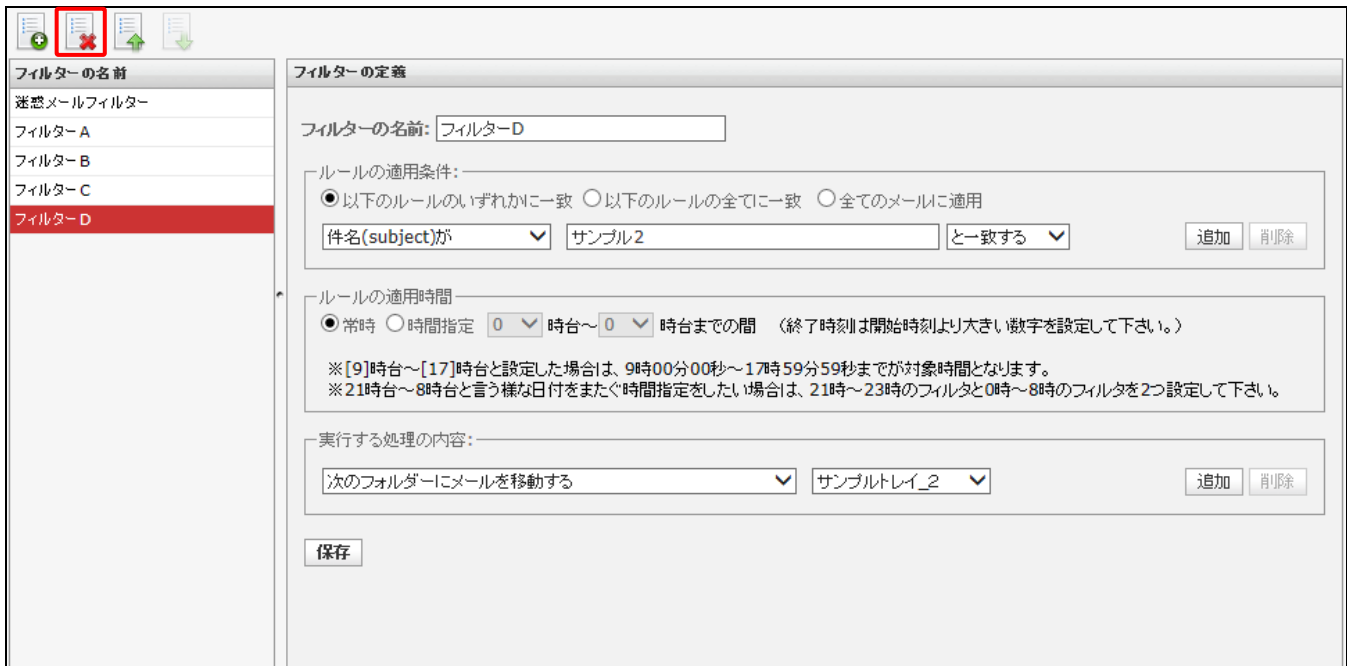
**保存**

## ユーザーフィルターの削除

ユーザーフィルターはいったん削除すると元に戻すことは出来ません。

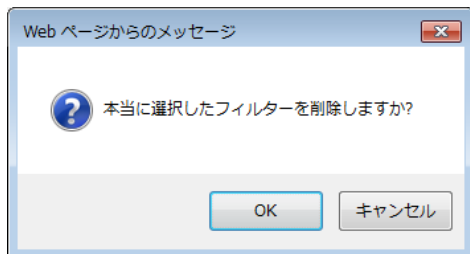
(1) フィルター一覧画面で、削除するフィルターを選択し  ボタン(削除) をクリックします。

※迷惑メールフィルターは削除する事ができません。




(2) 確認メッセージが表示されます。

削除する場合は[OK]ボタン、キャンセルする場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。



## ユーザーフィルターの優先順位の変更

フィルター設定は、通常、フィルター一覧の上から順に適用されます。

適用順を変更したいフィルター設定を選択し、  ボタン (上に移動) または  ボタン (下に移動) をクリックします。

